

平成30年病虫害発生予察指導情報

対象病虫害：ナシ黒星病

平成30年6月25日

鳥取県病虫害防除所

表1 ナシ黒星病巡回調査結果（6月12、13、14日調査）

地区名		発病葉率 (%)		発病果率 (%)	
		本年	平年 ¹⁾	本年	平年 ¹⁾
東部	久末	1.1	2.2	0.3	0.2
	佐治町①	0	0	0.3	0.1
	佐治町②	0	0.2	0.7	- ³⁾
	青谷町	- ²⁾	0.1	- ²⁾	0.1
	八頭町	0	1.5	- ³⁾	0.3
中部	湯梨浜町	0	0	0	0
	俣谷	0	0.1	0	0
	関金町	13.6	0.8	4.0	0.8
	北栄町(園試)	0	0.4	0	0.0
	琴浦町	0	0.2	0	0
西部	大山町	0.6	2.5	0	0.2
	淀江町	0	0.7	- ³⁾	0.2
	南部町	0	0	0	0
平均		1.3	0.7	0.5	0.2

注) 1) 調査地点により調査年数が異なるため、H20～29年の期間のうち2年以上（最大10年）の調査結果をもとに平年値を算出した。

2) 調査樹が伐採済であり、調査が行えなかった。

3) 被袋済であり、調査が行えなかった。

・ 1圃場当たり300果、30果そのの全葉を調査

・ 調査対象はすべて赤ナシである

【概要】・果そう葉における平均発病葉率は1.3%（平年：0.7）と平年並であった。
・果実における平均発病果率は0.5%（平年：0.2）と平年に比べてやや高かった。

【対策】・発病した葉及び果実は取り除き、園外で処分する。
・多発園では、DMI剤（アンビルフロアブル、スコア顆粒水和剤など）の追加防除を検討する。ただし、多発時のDMI剤の使用は耐性菌発達リスクを高めるため、春季からのDMI剤の総使用回数が2回以内の場合に限って使用し、単用散布は行わない。その他の追加防除薬剤には、ベルコートフロアブルや有機銅水和剤（キノンドーフロアブルまたはドキリンフロアブル）などがある。